

今月のテーマ 家族コール 3「テスト送信機能」について

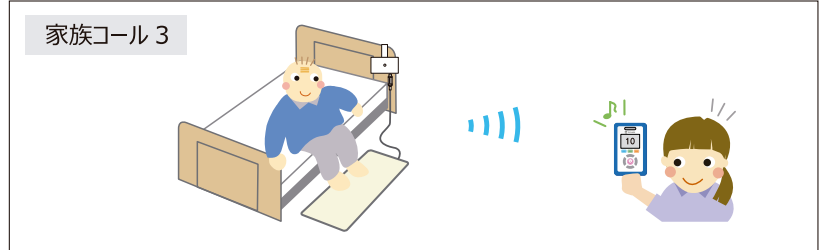
今月は、家族コール 3 の便利な機能「テスト送信機能」についてご紹介します。

家族コールは、高齢者の徘徊行動を離れた位置にいる介護者へ伝える製品のためセンサーと受信器の電波が通達するように設置する必要があります。

家族コールの電波の通達距離は、建物の構造や

環境で異なりますので正しく報知するか、動作確認が不可欠です。動作確認には通常、センサーを作動させる人と、

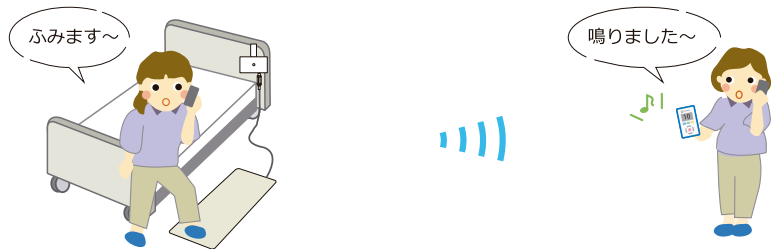
離れて受信器が鳴ることを確認する人の 2 人が必要です。しかし、「**テスト送信機能**」を使えばこの作業が 1 人でできます。



● 2 人で確認する場合

対象：家族コール全シリーズ

1 人がマット(センサー)を踏んで、
もう 1 人が受信器を確かめる。



● 1 人で確認する場合（テスト送信機能使用）

対象：家族コール 3

テスト送信中は、
常に電波を送信し続けますので、
1 人で受信を確認できます。



使い方

テスト送信機能の設定方法

コンソールの一時停止ボタンを押しながら、
電源スイッチを ON。5 秒後に一時停止
ボタンを離すと「テスト送信」状態になります。

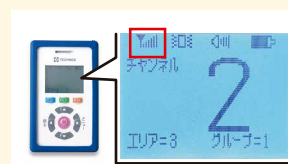


- * OP ランプが 5 秒おきに点灯します
- * 電源スイッチを入れ直すと「テスト送信」は解除されます

MEMO

スマート K では 電波の受信感度が確認できます

アンテナ表示は、電波の受信感度を示します。
電波を受信したときのその地点での感度を示していますので、



テスト送信時の電波確認の
参考になります。

- * 場所を移動しても次に電波を受信するまで表示が残ります。

納品・設置時の動作確認には「テスト送信機能」をぜひご活用ください！